

# ILC ニュース

いちのせきリニアコライダー通信

International Linear Collider : 国際リニアコライダー

Vol. 20  
March 2017

## 国際学会 LCWS2016



開会式に参加する研究者

リニアコライダー（直線型加速器）に関する国際学会「リニアコライダー・ワークショップ（LCWS）」が、12月5日から9日まで盛岡市を会場に開催され、世界各国の研究者や技術者など約350名が参加し、最新の研究成果について議論を深めました。

初日の開会式では、超党派の国会議員で組織するリニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟会長の河村建夫衆議院議員が基調講演を行い、「日本こそが人類共通の言語・文化ともいえる『科学』をもとにした世界の融和の役割を果たすべきであり、日本から『サイエンス・ファースト』というメッセージを発信し、世界



大原市民センターで展示物を見学

を科学でつないでいく、その象徴の一つが国際リニアコライダーである」と述べました。

期間中に開催された会議では、ILC実現に向けた技術面の課題や、国際協力の構築などを主なテーマに話し合い、実験装置の規模を段階的に拡張する「ステージング（段階付け）」の戦略、経費削減などが議論されました。

このほか、併催事業として、岩手の観光や食、歴史、文化などを紹介する「いわてまるごとフェア」や「企業展示会」「企業セッション」「研究者と中高生との交流会」などが開催されました。研究者と中高生との交流会には、舞川中学校2年の北朱莉（きたあかり）さんが参加し、学会に参加した海外の研究者と宇宙や物理学を話題にしながらか交流を深めたほか、5日に開催されたウエルカムレセ



懇親会では一関地方のもち食文化をPR

プションでは、IWATE ILC 2030プロジェクト（主催：岩手日報社）に参加している花泉中学校2年の佐藤琴恵（とうことみ）さんが、8月に行われたスイス・ジュネーブ視察を含む、これまでの活動内容について研究者を前に発表しました。

9日には、学会の参加者のうち約100名が、市内大東町のILC建設候補地付近などを視察しました。大原市民センターでは、北上サイトの地質調査結果や立体地形図、サイト周辺の観光地やイベント、子どもたちが描いたILCの絵画などを見学し、全日程を終えました。

今回の学会に参加した国内外の研究者は、北上サイトの現状や、ILC実現に向けた地元の熱意、地域の魅力などを肌で感じていました。

### Contents

- ◆国際学会LCWS2016
- ◆ILCシンポジウム
- ◆ILC関連技術セミナー
- ◆ILCかるた大会
- ◆ILC絵画コンクール
- ◆高校生が市長と懇談
- ◆案内板で英語を勉強
- ◆ニュースクリッピング
- ◆Ichinoseki Lives Cosmopolitan
- ◆教えてネイトさん！
- ◆お知らせ



参加した研究者の集合写真

\* ILCニュースの英語版を一関市国際リニアコライダー推進ホームページに掲載しています。  
\* An English translation of this newsletter can be seen on the English page of Ichinoseki City's ILC website.

## 「ILCシンポジウム」

12月6日、盛岡市中央公民会を会場に県民集会「ILCシンポジウムin岩手」(主催：県ILC推進協議会など)が開催され、約400名が参加しました。

第一部では「ILC計画の現状と地域へのインパクト」と題し、県立大学学長の鈴木厚人氏が講演。ILCが地域に与えるインパクトについて「単なる国際都市ができるのではなく、新しい国を作ることに等しい」とILC実現の意義を唱えました。

第二部では、東北大学・岩手大学客員教授の吉岡正和氏が進行を務め、勝部修一関市長、小沢昌記奥州市長、佐藤光彦盛岡市副市長、赤川郁夫



シンポジウムで発言する勝部市長

気仙沼市副市長、大平尚県政策地域部長の5名をパネリストに、ILCを契機とした地域の未来像について公開討論が行われました。

勝部市長は、外国人研究者向けの新しい野菜の作付けや、研究施設内レストランへの地元食材の提供など、地元農家が希望を見いだせるような農業振興とILCの結びつ

## 「ILC関連技術セミナー」

2月3日、「ILC関連技術セミナー」(主催：市)が、ホテルサンルート一関を会場に開催され、市内外から約50名が参加しました。

第一部では、茨城県つくば市の(株)オオツカ代表取締役大塚美智夫氏が「加速器関連産業参入に求められること〜ILCの取引をするには〜」と題し講演。大塚氏は加速器産業に参入したきっかけや、研究者が企業に求めていることなどについて分かりやすく説明し、ILCが実現すれば、地元企業が様々な分野で関われるチャンスがあることを強調しました。

第二部では、(一社)茨城

きについての考えを披露。また、「世界遺産平泉とILCをどう生かすのか」、「周辺地域も戦略的にまちづくりを進めていくことが必要」としたうえで、「ILCが来てほしいと待っている状況から脱却し、何から先に手をつけるのかを見極めながら進めていかなければならない」と述べました。

研究開発型企業交流協会会長で、ペンギンシステム(株)代表取締役仁衡琢磨氏が「研究開発支援業務の難しさと喜び」と題して講演。仁衡氏は、研究開発支援業務の難しさについて、自らの経験をもとに紹介。その一方で、ノーベル賞を夢見て研究している研究者と、対等の立場で研究開発を支援している喜びについても述べました。



講演する大塚氏

## 「ILCかるた大会」

1月26日、猿沢市民センターに開設している放課後子ども教室の事業として「子ども教室かるた大会ILC杯お正月編」が開催され、猿沢小学校の児童14名が参加しました。

「ILCかるた」を使用したかるた大会は、昨年9月に続き2回目の開催。児童が2つのグループに分かれて、予選、決勝の2試合を行い、白熱した戦いが繰り広げられました。

「ILCかるた」は、市内の小学校、放課後子ども教室、放課後児童クラブ、市民センターなどに備え付けています。



かるた大会の様子

## 「ILC絵画コンクール」

1月22日、小学生を対象としたILC絵画コンクール(主催：県南広域振興局)の表彰式が、奥州市文化会館(Zホール)で開催されました。

2回目となる同コンクールには、低学年(1〜3年)と高学年(4〜6年)の両部門に264点の応募がありました。市内の小学校からも、6校から98点(低学年の部50点、高学年の部48点)の応募があり、佐々木陽菜さん(大原小3年)の「未来の岩手にILC」が低学年の部で優秀賞に選ばれました。



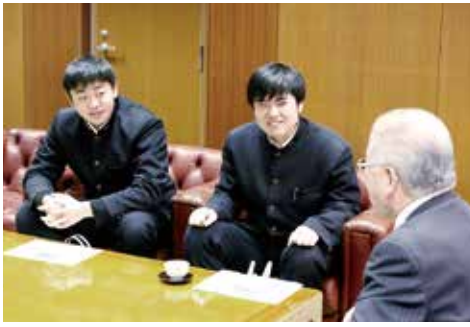
低学年の部優秀賞 佐々木陽菜さんの作品

## 高校生が市長と懇談

1月16日、県立一関第一高等学校3年の浅利寛喜さんと金野遼大さんが勝部市長を訪れ、ILCを話題に懇談しました。

医師を志す浅利さんは「ILCは東北や岩手の発展の鍵。自分たちもILC実現に向け力になりたい」とILC実現に対するかかわりを熱望。金野さんは「素粒子物理学の研究者になるのが夢。できればILCで働きたい」と目標を語りました。

市長は「ILCを自ら呼び寄せようという姿勢が心強い」と応じ、今後も高校生と意見交換を続けることを約束しました。



懇談した金野さん(左)、浅利さん(右)

## 案内板で英語を勉強

松川市民センターでは、ILC実現による地域の国際化を見据え、地域内の観光名所等を英語併記した案内板を製作し、JR大船渡線岩ノ下駅前に設置しました。

1月29日には、市ILC推進課のネット・ヒル国際化推進員が講師を務め、松川1区子供会の児童8名が案内板に記載されている地元の観光名所などを英語で学びました。同子供会会長の伊藤未悠さんは、「英語での呼び名を勉強することができて良かった」と感想を述べました。



看板に記載されている英語を学ぶ児童

# NEWS

## ニュースクリッピング

最近の  
ニュースを  
ピックアップして  
お届けします!

### 政府予算案にILC計画関連1.1億円計上

平成29年度政府予算案に、ILC計画に関連した調査費や技術開発費として1.1億円(前年比3千万円増)が計上されました。

内訳は、加速器技術の高性能化、小型化・低コスト化などを図るための開発を行う経費として5千万円(前年同額)、国際大型加速器計画に関するリスク分析の調査研究費として6千万円(前年の倍額)となっています。

### ILCに関する有識者会議(第6回)

2月1日、ILCに関する有識者会議(座長:平野真一名古屋大学名誉教授)は、第6回会議を開催。これまでの検討事項の整理と今後の協議が行われ、4つ目の作業部会となる「体制及びマネジメントの在り方検証作業部会」を設置。国際研究組織の体制や管理運営のあり方などの検討が行われる予定です。



©Rey.Hori

### 県政懇談会「がんばろういわて!岩手」意見交換会

1月17日、平泉文化遺産センターで県政懇談会が開催され、県内のものづくり産業や観光物産関係者、高校生ら6名がILC実現について達増知事と意見交換を行いました。市からは、県立一関第一高等学校2年の千葉朱璃さんと千葉壮太さんが参加し、科学や基礎研究の重要性などについて自らの考えを述べ、ILC実現に向けた期待などを語り合いました。

### いちのせきサイエンスカフェ(第3回)

11月25日、「いちのせきサイエンスカフェ(第3回)」を、千厩酒のくら交流施設を会場に開催。東北大学大学院理学研究科准教授佐賀智行氏が「ILCの実現に向けて」と題し講演を行い、中高生など幅広い年代から41名が参加しました。

### ILC技術セミナー(第3回)

1月12日、第3回ILC技術セミナー(主催:いわて加速器関連産業研究会)が一関文化センターを会場に開催され、県内の企業や、研究機関、行政関係者約100名が参加しました。セミナーでは、KEKの研究者3名が講演を行い、ILC超伝導加速器に使われる大電力高周波技術に関して詳細に解説しました。

### 勝部市長が宮城県栗原市職員に講話

1月20日、栗原市この花さくや姫プラザを会場に、勝部修市長が栗原市の職員向け講演会を行い、職員約150名が聴講しました。この講演会は、一関市、平泉町、宮城県登米市、栗原市の4市町連携の取組として開催され「世界を見る眼で一関を拓く」と題して、ILC誘致に向けた取組などについて講演しました。

# Ichineseki Lives Cosmopolitan



マーキー・マケンジーさん

市ではILCの実現を見据え国際化を推進しています。ここでは、市内で活動する国際人を紹介します。今回はアメリカ・ワシントンDC出身のマーキー・マケンジーさん。マーキーさんは千厩地域在住で、小中学校で英語を教えています。

Q: 趣味は？

A: 映画観賞や写真を撮ること、日本語と日本の文化を学ぶこと、そして音楽が好きですね。月に1回程度、千厩でDJをやっています。また隣の気仙沼市の大島でもやったことがあります。

Q: 一関市のどんなところが好き？

A: 一関は自然が豊かなまちで美しいです。室根山頂からの景色も素晴らしい。一関の皆さんがフレンドリーで、ここに住むのが好きです。

Q: 子ども達の英語教育に関してはどう思いますか？

A: 子ども達が外国人と交流する機会が増えたらいいですね。異文化のことについて学ぶことが大事だと思います。外国の文化に興味を持っていれば、もっと外国語を学びたいとも知れません。

Q: 最後に、ILCの実現に向けて一言お願いします。

A: 多くの人々が、ILCが実現したら地域にどのような好影響をもたらすかを知ることができれば、きっと実現すると思います。私はこれまでイベントなどをお手伝いし、今後も引き続き参加したいと思っています。是非、イベントに遊びに来てください！

## English 教えてネイトさん!

## 今すぐ使える ネイトの英会話教室



Two students are walking past the display space on the second floor at the east exit of Ichinoseki station.

Jessica: I wonder what's in that display case ...

Rio: Shall we take a look?

Jessica: It's granite from the Kitakami Mountains.

Rio: Looks like good quality, doesn't it?

Jessica: Oh so you can tell by looking at it!

Rio: That's why it was chosen as a candidate site for the ILC!

(和訳)

二人の学生が一関駅東口交流センター2階の展示スペースを通っているところ。

ジェシカ: あの展示ケースに何が入っているんだろう...

莉央: 見てみようか?

ジェシカ: 北上山地の花崗岩なんだ。

莉央: 質が良さそうだね。

ジェシカ: 君、見てわかるんだ!

莉央: だからILC建設候補地として選ばれたの!

## お知らせ

### サイエンス×ハローキティ関連グッズ インターネットでの販売を開始



新作も登場!  
ブラックTシャツ  
トートバッグ

<https://sciencekity.shop-pro.jp/>

### ◎ILCをもっと知ろう!

～勉強会・講演会への講師・キャラバン派遣～

市では、自治会や各種団体などが主催するILC勉強会・講演会に講師を派遣します。

市職員が講師としてお伺いするほか、実施内容に応じて、高エネルギー加速器研究機構(KEK)の研究者、岩手県のILCキャラバンの派遣についてのアドバイスも行っておりますので、お気軽にご相談ください。

# ILCニュース Vol.20

いちのせきリニアコライダー通信  
March 2017

発行 岩手県一関市

編集 市長公室 ILC推進課

〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号  
TEL 0191-21-2111 (内線8646・8647)  
FAX 0191-21-2164  
URL <http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/ilc/>  
E-mail [ilc@city.ichinoseki.iwate.jp](mailto:ilc@city.ichinoseki.iwate.jp)

### HP、SNSでILC情報を発信中!

専用のHP(ホームページ)、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を利用し、ILCの情報を発信しています。

パソコンやスマートフォンなどの携帯端末から手軽に利用できますのでぜひご覧ください。

◎一関市国際リニアコライダー推進ホームページ

[一関市 ILC 検索](#)

